

山口県熊毛郡田布施町方言

船木 礼子

項目		基本情報
話者 情報	生年	1973年
	生育地	山口県熊毛郡田布施町
	性別	女
	補足情報	18歳まで上記生育地。19歳から近畿地方在住。
解説	概要	<p>山口県の方言は、東の周防方言（大島方言・東周防方言・西周防方言）と、西の長門方言（北長門方言・南長門方言・豊関方言）に大きく分かたれる。この話者の生育した熊毛郡田布施町のことばは周防方言のうちの東周防方言に当たる。岩国市や柳井市などの都市部と熊毛郡や玖珂郡などの郡部を合わせた周東地区で話されていることばである。広島方言や、周防大島および愛媛県や大分県の影響も見られる。</p> <p>この地域の方言では、古くは「サキュー」「サキョー」（酒を）といったヲ格格助詞の融合・拗長音化現象や、「ノード」（飲んだ）、「アスード」（遊んだ）などのマ・バ行活用動詞のウ音便、「サムアリマス」（「寒い」の丁寧形式）などの「アリマス」による丁寧形式があったが、この話者の世代には用いられなくなっている。しかしこの話者は「ハシリヤー」（走れば）のような仮定表現の拗長音形を頻用し、「フロージャー」（降るだろうよ）を推量表現として用いるなど、当地の若年層よりやや古めかしい形式を使用する。</p>
	表記	カタカナ音声表記とした。特殊な表記は使用していない。
	文法概説	<ul style="list-style-type: none"> ・対格の格助詞「オ」は名詞末尾の母音と融合し、拗長音形になったり、あるいは脱落したりする（例文1,2,3,4）。与格の格助詞は「イ」または「ニ」が使われるが、脱落することもある（例文1,7,16）。 ・命令表現には動詞連用形命令などが多用される。動詞命令形もあるが、ぞんざいな形式として主として男性が使用する（例文5）。 ・禁止表現には否定辞とコトからなる「-ンコト」が多く使われる。「-ナ」による禁止も使われるが、ぞんざいな形式と認識されており主に男性が使用する（例文6）。 ・意志表現には動詞の意志形が用いられる（例文1,7,41）。勧誘表現にも動詞意志形を用いるが、文末に相手への働きかけを示す文末詞「-ヤー」を付けることが多い（例文39,48）。 ・推量表現には動詞や形容詞終止形に接辞「ジャロー」を付ける形が主である。やや古い形として意志形と同じ形（例えば「イコー」（行こう））も使用するが、その場合は文末詞「-ジャー」を付加することが多い（例文8,29,37）。 ・仮定表現には「イキヤー」（行けば）などの動詞語幹末工段音とバの融合した拗長音形と、「イッター」（行ったら）などのタラ形を用いる（例文5,9,10,15,32,34）。形容詞の場合は「サムケリヤー」（寒ければ）または「サムカッター」（寒かったら）の形を使う。

解説	文法概説	<ul style="list-style-type: none"> ・原因・理由表現に「-ケー」を用いる(例文6,20,21,22,23)。この「-ケー」の使用は非常に多く、文末に現れて文末詞のように使われることも多い(例文1,4など)。 ・否定辞には「-ン」を用いる(例文11,12,13,14,15,22,23,31,46)。「-ン」は形容詞型の活用を部分的にもち、「ミンカッタ」(見なかった,例文13),「ミンクナル」(見なくなる)のようにも使われる。古くは「ミダッタ」「ミザッタ」(見なかった)もあったが、この話者は使わず、代わりに「ミンジャッタ」を用いる(例文13)。また否定の仮定表現は昔は「ツケンヤー」(付けなければ)も使われたが、この話者は「ツケンヤー」を使用する(例文46)。 ・使役表現には、「-セル」よりも「ノマス」「イカス」などの「-aス」がよく使用される(例文16,17)。 ・受身表現には「-(ラ)レル」が使われる。間接受身にも使用される(例文18,19)。 ・可能表現には、五段活用動詞の場合、可能動詞が用いられる。状況可能と能力可能の区別はない(例文20,21,22,23)。一段活用動詞の場合は「ミレル」などの接辞「-レル」によるものがもちいられる。また「-デキル」なども使用する。 ・アスペクトには「ヨル」と「チョル」が使われる(例文24,25,47)。 ・希望表現には「-タイ」を用いる(例文26)。 ・形容詞の連用形にウ音便を用いる(例文30,31)。 ・名詞述語文では、文終止のときはコピュラを付けない(名詞に文末詞が直接付く)。その他ではコピュラ「-ジャ」が使われる(例文35,38)。
----	------	---

〔基本例文50〕 山口県熊毛郡田布施町方言訳

方言訳1 (もっともよく使う表現)	方言訳2 (使うこともある表現)	備考・コメント
1 イマカラ トモダチー テガミ カク ケー。	イマカラ トモダチー テガミョー カク。	発話意図を示す終助詞などをつけるのが自然。ここでは「ケー」または「イネ」などをつけたものを1に挙げる。以下同。 テガミオは年配の人だとテガミョーのように拗長音化した発音になることもある。
2 フデデ テガミオ カク ヒトモ オルイネ。	フデデ テガミオ カク ヒトモオル。	テガミオは年配の人だとテガミョーのように拗長音化した発音になることもある。
3 イエー カエッテ スグ テガミ カイタヨ。	イエー カエッテ スグ テガミオ カイタイネ。	テガミオは年配の人だとテガミョーのように拗長音化した発音になることもある。
4 カイタ テガミオ ナンカイモ ヨミカエスケー。	カイタ テガミオ ナンカイモヨミカエスンヨー。	発話意図を明確にしないと言いづらい。 テガミオは年配の人だとテガミョーのように拗長音化した発音になることもある。
5 ジュージン ナツタラ ハヨー ネンサイヨ。	ヨルワ ハヨー ネー。 モー ジュージド。 サツサトネロイヤ。	「夜は」と「10時になったら」を続けにくい。条件の後で「さっさと寝ろ」という命令はしづらい。「ジュージド」の「ド」や「ネロイヤー」は男性が主に使用する。
6 アブナイケー シャドー アルカンコトヨ。	アブナイケー シャドー アルクネーヤ。	アルカンコトヨは女性がよく使う。アルクネーヤは矛盾考慮の文脈で男性が使う。
7 コノ ホンワ タローニ アゲヨー。		
8 ヒルカラ アメガ フルジャロージャー。	ヒルカラ アメガ フロージャー。	フロージャーはやや古い形式。
9 ハルニ ナリヤー ハナガ サクジャー。	ハルニ ナリヤー ハナガ サクモンイネ。	
10 ハナコガ マドー アケタラネー、ムシガハイッテキタンヨ。		
11 アサワ アンマリ テレビ ミンケー。	アサワ アンマリ テレビ ミンヨー。	
12 ハナコア ソネーナ バングミナンカ ミリヤーセンケー。	ハナコア ソントナ バングミナンカ ミリヤーセンケー。	
13 ハナコア キノー テレビ ミンカッタヨ。	ハナコア キノー テレビ ミンジャッタヨ。	
14 ハナコア テレビ ミント ホンバッカリヨンジョル。	ハナコア テレビ ミンデ ホンバッカリ ヨンジョル。	
15 テレビオ ミンカッタラ コノ シゴトアキョージュニー オワッタローニネー。	テレビョー ミンジャッタラ コノ シゴトアキョージュニー オワッタローニネー。	
16 ネット ダシタ コドモイ クスリョー ノマシタ。		
17 オカーサンガ イモートー オツカイーイカシタ。		

18	オトートト ケンカシテネー ワタシダケ オトーサンニ オコラレタンヨ。		
19	ルスントキー ドロボーニ ハイラレタン ヨー。		
20	コノコア マダ コマイケド ムズカシー カンジガ カケルンヨ。	コノコア マダ コマイケドガ ムズカシーカンジガ カケルン ヨ。	ケドガは年配の人がよく使う。
21	キョーワ ジカンガ アルケー ユックリ テガミガ カケルワー。	キョーワ ジカンガ アルケー ユーニ テガミガ カケルワー。	
22	コノコア マダ コマイケー ヒラガナシ カ カケン。		
23	ツクエガ ナイケー ジガ チャント カ ケン。	ツクエガ ナーケー ジガ チャ ント カケン。	ナーケーは年配の人が使う。
24	タローワ イマネー トナリノ ヘヤデ ホン ヨンジョルヨ。	タローワ イマネー トナリノ ヘヤデ ホン ヨミョルヨ。	
25	タローワ ハナコカラ カリタ ホンオ ハー サイゴマデ ヨンジョルヨ。		
26	モット シズカナ トコデ ネットイワー。		
27	ユーヤケデ ソラガ アカイワー。		
28	コドモンコラー ヒトリデ トイレー イ クンガ ブチ コワカッタッチャー。		
29	ウドンヤラ ソバジャッター ヤスイジャ ロージャー。	ウドンヤラ ソバジャッター ヤ スカロージャー。	
30	フルホンヤニ ホンオ タコーニ カイ トツテモロータ。		
31	テンキガ ワルーテ ダレモ コン。		
32	モット ヤスケリヤー カエタノニ。		
33	ヒトリデ アソビー イッテモ タノ シューナイイネ。		
34	テンキガ ヨーナリヤー デカケラレルン ジャケドネー。	テンキサエ ヨーナリヤー デカ ケラレル。(直訳調)	
35	タローワ マダ チューガクセーヨ。		
36	コドモン トキヤー センエンデモ タイ キンジャッタ。		
37	コリヤー ドロボーノ アシアトジャ ロー。		
38	ソリヤー ワタシンデー アリヤー セン セーノヨ。	ソリヤー ワタシノ カサデー アリヤー センセーノ カサヨ。 (直訳調)	
39	アシタ エーテンキジャッター コドモ ラー ツレテ ドッカ イコーヤー。(勸 誘)	アシタ エーテンキジャッター コドモラー ツレテ ドッカ イ コーカー。	
40	コノ カサト クツア ワタシンジャーナ イヨ。		

41	A: アシタモ ココイ クルン。 B: ンー コヨー オモーチョルヨ。		
42	A: アンタ ナンデ コンノカネ。クルツ チュータジャー。 B: ゴメン。 チョット チョーシガ ワ リーンヨー。	A: アンタ ナンデ キチョラン ノ。クルツチュータジャー。 B: ゴメン。 チョット チョーシ ガ ワリーンチャー。	
43	A: アソコン オルンワ タローカネー。 B: イヤー タロージャ ノーテ ジロー ジャ ナイカネー。		
44	A: ドレガ アンタンナン。 B: コレガ ワタシンヨ。	A: ドレガ アンタン カサナン。 B: コレガ ワタシン カサヨ。	
45	A: コノ ホン ヨムンジャッターラ カシ チャゲルヨ。 B: ソノ ホンジャッターラ ハー ヨンデ シモータイネ。		
46	A: トナリニ ドロボーガ ハイッタン ト。 B: エー ソーナン。 トナリニ ハイッ タンジャッターラ ウチモ キオ ツケン ニヤー イケンネー。		
47	A: アメガ フリソーナジャケー マドー シメチョイデ。 B: ハー シメチャールヨ。	A: アメガ フリソーナジャケー マドー シメチョイデ。 B: ハー シメチョルヨ。	
48	A: ソバ タベー イコーヤー。 B: イヤー ソバヨリ ウドンノ ホーガ エーワー。		
49	A: イロハショテンツチューー ホンヤ ド コカ シラン。 B: シッチョルヨ。 ムコーニ カンバン ガ ミエルジャー。	A: イロハショテンツチューー ホン ヤ ドコニ アルカ シランカ ネ。 B: シッチョルヨ。 ムコーニ カ ンバンガ ミエルジャロー。	
50	A: ツキデヒロッタタマゴ ッチューン タバタコト アルー。 B: ウン、アリヤー ホンマニ オイシー イネー。		